令和５年度第３回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

通常事業事前審査　議事録

日　　時：令和５年８月８日（火）　午後６時から午後８時５５分
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室
出席委員：山内　正雄（委員長）、辻本　紀み子（副委員長）、平中　学、柴田　洋子、
谷本　陽子、大宮　康一
※委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。
事務局：瑞　浪　市　長　水　野　光　二
まちづくり推進部長　小木曽　昌　弘
事務局職員：市民協働課長　加　藤　博　史
まちづくり支援係長　正　木　麻　子
まちづくり支援係　中　筬　高　弘
次　　第：１．市長あいさつ
２　委員長あいさつ
３．審査会の進行等についての説明
４．活動報告（事後評価）
・令和４年度夢づくり地域交付金
ステップアップ事業実績報告
・令和４年度夢づくり市民活動補助金（２団体より説明）
５．審査
・令和５年度夢づくり市民活動補助金　審査（追加募集分）
６．閉会

【１　市長あいさつ】

皆さんこんばんは。本日は、令和５年度の第３回夢づくり地域交付金等事業審査会ということでよろしくお願い申し上げます。

今年度は祈願花火を開催することができました。改めて４年振りの祈願花火でしたし、本格的な七夕祭りでしたので、どうなるかなと思いましたが、多くの市民のみなさん始め、市外からたくさんの方に来ていただいて盛大にできたということは、多くのみなさんが待ち望んでいたというところがありますし、無事に開催できてよかったと思います。特に来年は７０周年ですので来年に向かって改めて今年行っていいところもありましたし、見直さないといけないところもありましたので、そういうところを検証しながら来年もっと７０周年にふさわしい夏祭りにしていきたなと、そんな風に思っております。

ただ素晴らしかったと思ったところが２つありまして、一つはですね土曜日と日曜日の夜２１時に祭りが終わりまして、その後清掃活動をしております。特に市の職員が交代制で清掃しておりますが、ゴ

ミの分別を駅前で行います。ペットボトルや缶をまとめて全部広げて分別したあとにパッカー車にきてもらう、ゴミを積み込む作業が大体１時間くらいかかるわけです。ただ今年はですね中京高校の生徒さんがもちろん踊りにも参加していただいてますし、祭りにもいろいろなボランティアで参加していただきましたけども、この子達が自分たちの踊りやボランティア以外の時間を割いてずっと日中分別作業をやってくれていたんですね。ですから我々が夜の２１時に集まったときにはキレイに分別されておりました。あとは積み込むだけの状態でした。今までで初めてのことでした。ただ今までは２１時に高校生や踊り子さん達が集まっていただいて分別作業をしてくれるのですが、今回はもう積み込むだけの状態で３０分もかかりませんでした。ある程度実行委員の方から声をかけたこともあるかとは思いますが、任意で活動していただき大変素晴らしいなと思いました。

あと一つはですね、日曜日の朝６時から中学生が集まってくれまして、瑞中のみなさんやスポーツ団体のみなさんにも集まっていただき、それに伴って親御さん達にも参加していただいて花火の清掃作業をするんですね。これは文化センターや厚生病院とかバローさんの方まで花火の屑が飛んでいっているんですが、これは６時から７時まで１時間ほどやります。３００人位の方たちに集まっていただいてそれぞれ手分けしてゴミ拾いをしました。これは本当に素晴らしい活動をしていただいていると思います。ただ単にお祭りが良かったという評価もありがたいのですが、その陰で中高生の子たちがボランティアで裏方をやっていただいているということが、気持ちよく日曜日に瑞浪を訪れていることにつながっていると思います。こういう土壌というのが夢づくりの活動を普段から各地域でやっていただいているおかげさまもあるのかなと思います。是非これからも地域のみなさまが大切な夢づくりの予算を有効に使っていただいて地域の活性化とか、子供たちの育成やイベントにも活用していただけるとありがたいかなと思います。今日はステップアップ事業と市民活動補助金の事業が二つと改めて市民活動補助金の申請がありましたので、これも大変素敵な取り組みの応募でございますので、是非プレゼンを聞いていただいて、ご指摘がありましたらしていただく、予定では９月に開催する予定ですので私どもも参加するつもりでおりますが、これから先を見越すと、必要なオーガニック料理、食育に関することをやろうとしてみえる団体さんの申請がございますのでしっかり聞いていただいてアドバイスしていただけるとより素晴らしい意義のあるイベントになるのかなと思いますのでよろしくお願い致します。スムーズに進めていただけることをお願い申し上げまして私の冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【２　委員長あいさつ】

市長さんがおっしゃいましたが、本日の審査会は令和４年度のステップアップ事業ならびに市民活動事業の報告審査、それから令和５年度の市民活動事業の追加募集の事業審査でございますので、各団体さんの発表を伺いながら委員の皆さんとともに慎重に審査をしていければと考えておりますので、宜しくお願い致します。

それから委員のみなさまに再三お願いしていることではありますが、各団体の今後の活動に参考になるようなアドバイス、質問を積極的にしていただきますようお願い申し上げます。

【３　ステップアップ事業、市民活動事業の審査会の進め方、申請状況等について】

≪事務局より説明≫

～質疑なし～

【４　審査】

≪①各団体からの事業説明≫

～省略～

≪②質疑・意見交換≫

明世地区まちづくり推進協議会（以下「明世」）

〇委員　ホタル育成事業

素敵なホタルの映像でした。ありがとうございます。

ホタル育成ですが、今後里親がもっと必要なのかなと思います。今後どのような形で継続していくのか教えて下さい。看板は夜になっても見えているのか、紫陽花も植えていただいて夜だけではなくて、昼間も子ども連れで散策できるような場所になったらいいなと思います。

●明世

里親についてですが、毎年ボランティアを募集して行っているところです。あとリピートで半分以上は２年連続でしていただいています。新しい方が６人位ずつ増えているような状況です。

看板についてですが、ホタルに影響ないように道路側に向かってしっかりと照らして、注意喚起を読んで進んでもらっています。明るくなっておりまして、この看板を見てから鑑賞してもらう流れです。紫陽花については、コロナでイベントがあまりできていないですが、あきよウォッチングということで地域を練り歩くイベントがありますが、その場所も地域の観光名所としてコースの一つに加えたいなと思います。

＜市長コメント＞

大変ご苦労さまでした。素晴らしいホタルの里福が完成したのかなと思います。まだまだこれから手を加えたいというお話もありましたので、是非少しずつ手を加えていただきながら完成していただけるといいのかなと思いました。それと最後に今後に向けてというところで明世町だけでなくできたら市内全域をホタルの里にしたいと、環境豊かな瑞浪市にしたいという思いも語っていただきましたので、それも大変素晴らしいなと思います。実際自然の状態で飛んでいるホタルが釜戸、日吉、稲津でも飛んでいるところがありますし、瑞浪のまちづくりの皆さんは奥村丁さんに指導いただきながら今年も活動されていますし、本当にたくさんのホタルが飛んでいますし、良かったなと思います。

それと明世のスライドが見やすくて素晴らしかったです。本当に素晴らしい発表でした。是非来年以降も期待しておりますので、よろしくお願いします。

中京学院大学（以下「中京」）

〇委員　地元野菜料理コンテスト

コロナ禍でたくさんの募集が集まったということで、非常に良かったと思いました。私も実は土岐の

イオンで一日に必要な野菜 350ｇを測ってみませんか？という催事に行かせてもらいました。350ｇを摂取するのはやはり難しいなと思いました。あとお話の中で地元野菜のことを言われていると思いますが、コンテストは成功していいなと思いましたが、実際には地元野菜についての実践、関心についてどのような活動をされたのかお聞かせ下さい。

あと新聞で読みましたが、土井義則さんの勧めている一汁一菜がありまして、野菜なんかもお味噌汁にたっぷり入れるといいんじゃないかと食育のことが書いてありました。そういったことも機会があれば教えていけるといいのかなと思いました。

●中京

はい、ありがとうございました。地元の野菜をといっていますが、なかなかこれという地元野菜が正直なくてですね、10 年ほど前に瑞浪市の中でマコモダケを販売していこうというのがありまして、特に釜戸地区の方々、農家さんがやられていたことがありました。今でも栽培していると思いますが、なかなか地元の野菜ではあるものの調理の仕方もわからない、見たこともない、食べたこともない、となると敬遠されがちです。また主役となるような野菜がなく、どうしても脇役となる野菜たちかなと思うと難しいかなと思います。その当時学生たちもマコモダケを広げていきましょうということでＰＲしたり、学生たちが考えたレシピを提案したりと活動していました。その時期にならないと採れなくて出荷される時期も長くはありませんが、常にレシピは考案しております。あと半原かぼちゃがありますが、それも季節限定のものですので、地元野菜というのは玉ねぎだったり、ニンジンだったりを使用することが多くなります。

野菜コンテストを通して、野菜の大切さを伝えていけたらなと思います。

〇委員

提供できるお店ができたということで、私達も食べる機会があるということが大変素晴らしいと思いました。高齢者のお話がでましたが、80 歳以上の方で、お漬物や煮物の上手な方いろんな料理が作れる方がみえますが、瑞浪市は食生活改善推進協議会の協力がありましてお料理の本が出ているんですね。その本を私は今でも使っているのですが、そういうお年寄りが得意な料理を中高生、大学生に伝承していくということをやっていただけるといいなと感じました。それと、野菜の摂取量の調べ方、それはアンケートによるものかどういった調査で分かったものでしょうか、お聞かせ願います。

●中京

摂取量の件ですが、小鉢が大体 70ｇで、瑞浪市内の高齢者の方に大体どれくらい食べたかなというを書いておいていただいたところです。

高齢者の方に学生たちが料理を教えていただく、それは本当に有難いお話で、私達の大学は地域の方々に支えていただいて教えていただくことがいっぱいあって、今の伝承のお話は大変有難いお話だと思いましたし、大変うれしく思いましたので、帰ってから相談させていただきたいと思います。

〇委員

学校給食とか市の連携の中で、優秀賞を取ったということで、レシピを提供いただけるということがあるかお聞かせ下さい。

●中京

今の意見をお聞きして、なるほどと思ったところで、明日にでも給食センターさんのところに相談にいきたいと思いました。野菜をたくさん採りましょうというところは給食センターさんも思っているところだと思いましたので、すごくいいアイデアをいただきましてありがごうございます。

〇委員長

昨年レシピ集をいただきましたが、拝見したところ立派な作りで、細かく載っていますので、料理を作る世代に広く配れないのかなと思いまして、冊子じゃなくても料理のページだけコピーするとか。

私が今関わっているお年寄り喫茶店というものがあるのですが、陶の場合ですと 100 人から 120 人位お見えになります。その辺りでレシピをお配りになるとそれ自体の PR にもなりますし、レシピを作って下さいねという機会にもなると思いますので、予算のこともあるかと思いますが、そういったこともあるということをお伝えしたいと思います。

●中京

そういった高齢者の喫茶店があるということを初めて知りました。そういったところに出向いて是非お願いしたいなと思いました。

＜市長コメント＞

ご苦労様でした。継続的に取り組んでいただいていい活動になっているのかなと思います。夢づくりの予算を使っていただいて、東濃地方の野菜摂取量が増えていくといいなと思います。

特にありがたかったのは瑞浪だけにとどまらず東濃のお店に声をかけるのは非常に大変だったと思いますが、やはり大学ならではの取り組みだと思いますので是非今年度も幅広く応募も集めていただきたいなと思います。またその結果を広く啓発していっていただければと思います。これだけの冊子を作ろうとおもうと予算も必要かと思いますが、まだまだ市民活動補助金がありますので、最高 50 万の予算が使えますが、12 万で行っているということでまだ幅がございますので、冊子でもっと使っていただけると良かったのかなと思います。

給食センターのメニューに入れることはそっくりそのままというと難しいかとは思いますが、先生がおっしゃったように出来る限り活用して応用していただいて給食などのメニューになるといいなと思いました。

料理を作っていらっしゃる世代、お母さん、お父さんに広く知ってもらえる機会を増やしてもらえるといいかなと思います。

また学生の皆さんにも感謝申し上げます。よろしくお伝え下さい。

瑞浪青年会議所（以下「青年会議所」）

〇委員　ミラスポ

お子さんと親御さんが一緒に集える場を作れたというのが良かったんじゃないかなと思います。子供さんは塾だったり勉強で忙しかったり、親御さんも働いていらっしゃるとたまの休みは家でゆっくりしたい家庭も多いかと思います。そういった中でこういった機会があったからこそ親子で集えたのかなと思います。これからも機会があればですが、体育館も改修されてそういった集いが開催されるといいなと思いました。90%以上もまたやってほしいという意見もあったので、大成功ではないかと思います。

あと、中京高校さんが参加されたということで子供さんと近い年齢の学生さんに教えていただくと親近感があっていいかなと思いました。瑞浪は麗澤さんとか瑞浪高校もございますので可能であればそういったところにも声をかけていただいて交流してもらえるといいなと思いました。

青年会議所さんが主催していただいてとても嬉しいです。瑞浪も捨てたもんじゃないなと思いました。

●青年会議所

普段、子供も近所にたくさんいますがゲームなどして外で遊んでる姿を見かけることがあまりありません。その中でやっぱり子供って来てみると、体と動かすことが好きなんだなと思いました。その姿を見て、親御さんが今度どう思っていくかというのが大事になってくると思いました。

〇委員

たくさんの参加者が来場されてご盛況で素晴らしいなと思いました。

測定の結果ですがどんな風に測っているのかなと、一つのスポーツだけなのか複数で見ているのかどうなのかなと。

あとアンケートの結果で、やりたいスポーツが見つかった 66%をどのように評価しているのか、高いと思ったのかもう少し上を目指したかったのかなどお聞かせ下さい。

●青年会議所

測定としましては握力、走ったりとか測定しましてそのデータをもとにＡＩがどんな種目が向いているかを結果として出します。最初に 30 種類の動物に当てはめましてそのなかのどんな動物タイプかをＡＩで出していきます。その動物がどんなスポーツが得意かを見てテニスとなっていたらテニスが得意な要素がありましたので、どうかなとかいう風に導いていく感じです。

やりたいスポーツが見つかったアンケート結果ですが、209 点の回答があり 138 点が見つかった、見つからなかった 40 点 19%ありました。無回答もありました 14%ですね。すごく難しいところではあるのですが、個人的にはスポーツが苦手な子もいますので、66%は自分的には高いかなと思います。やってみることが大事かと思いますので、それで合う合わないはあるかとは思います。

〇委員

コロナ禍で子供達の体力が低下していると言われているので、この事業は継続してもらえるといいなと感じています。知り合いの方が実際体育館に行かれて、子供達が測定しているのを見て、自分もウズウズしてやりたくなってしまい、測定してもいいですかとお声かけしたら測定させてもらえたとおっし

ゃってみえました。対象年齢とかも幅広く設けてもらえれば親子でコミュニケーションをとりながら出来るかなと思いましたが、いかがでしょうか。

●青年会議所

はい、ありがとうございます。最終的には親もＯＫという形でやっておりましたが、最初は事業の形としまして「子供の輝く機会を提供する」というのをメインにしておりました。まずは子供を主としておりました。最初の予約時にシステムで子供の予約をしてもらって余裕があれば大人もできますよというお話もしていましたのでそのような形でやっておりました。測定は大人もできますが、測定自体はこれからどんなスポーツがお薦めですよという形になるので大人だとこれからすごいスポーツ選手になるといったことがないように思いますが、大人も子どもと楽しく参加できる企画として継続できるといいなとは思います。

＜市長コメント＞

はい、ご苦労様でした。発表を聞いていて大変盛況だったなということが分かりました。500 人の方が参加されて 66%の方がやりたいスポーツが見つかったということと、もう一回やりたいという方が90%以上ということで目標以上の成果になったということを聞いていました。やはり今は子供のスポーツ離れというかゲームばかりやったり家の中に閉じこもっていることが多いと思いますので、子供たちがスポーツに触れ合うきっかけになるとおもいます。どんなスポーツをやったらいいのか迷っている子供や親もどんなものをやらせたらいいのかと迷っているので、この取り組みは素晴らしいと思います。市の教育委員会の方でも教育に取り入れていけるといいのかなと思います。特に今は体育館の改修も行っていますけど、来年 7 月までには完成する予定ですので是非来年度市政 70 周年の節目の年ですから秋くらいに来年盛大に市も協力しますので継続していただけないかなとお願いしたいと思います。特に青年会議所らしい取り組みになると思いますので、やっていっていただきたいなと思いますがいかがでしょうか？よろしくお願いします。

●青年会議所

はい、ありがとうございます。体育館の方に青年会議所のメンバーもいましてその辺りと連携はしますので、体育館の改修がうまく終わればという話は出ておりますので。青年会議所という形ではなくミラスポ実行委員会という団体を立ち上げてという形でやっております。

＜市長コメント＞

はい、そのような形でも結構ですので、継続していただきたいと思います。市の方から要請させてもらいたいと思いますのでその時は是非相談にのって下さい。よろしくお願いします。

●青年会議所

はい、よろしくお願いします。

子どもの食と未来を考える会（以下「子どもの食」）

○委員　みずなみワンオーガニック祭り

事前にこちらの資料を読ませていただいて、オーガニックがいいのはわかるのですが、巷では有機野菜で生活をしている人は少ないのでどういったプレゼンをされるのかなと思っていました。まずは令和3年に設立ということで肥田さんの設立をされたきっかけ、動機など、具体的に身近な方が有機野菜を食べて調子が良くなったなど、とっかかりがあったのかお聞かせ下さい。

オーガニックがとてもいいのは分かりますが、なかなか自分たちに取り込んでいく機会がないというか主婦としては値段が高い、健康にいいのは情報では聞きますが、その未知の感じで今後どのような展望をお考えなのか。オーガニック祭りが沢山の方にきていただいて、成功するといいなと思いますが、今後どのような形で会を進めていくのか話し合っているのかをお聞かせ下さい。

●子どもの食

ありがとうございました。さかのぼれば自分と子供達がアレルギーがひどくて、ずっと昔からアレルギーをできるだけ排除した生活、卵、牛乳などを摂らない生活をしてきました。そういうものが根底にはあるのですが、やっぱり子供達の食がオーガニックでこのように変わったよとか、岐阜県がオーガニックで給食に取り入れていくことを知ったので、私も最初は同じ気持ちで何がそんなにいいのだろうという、オーガニックのどんなところがいいのか勉強しなきゃとおもいまして、オーガニックで頑張っていらっしゃる方を園に来ていただいて勉強しました。そうしたら目からウロコで、食で本当に子供が変わるという、実際にキレたり暴れたりしていた子がだんだん落ち着いてきたという事があります。実際今出回っているお野菜は栄養価がほとんどない、農薬を使った野菜を小さい子に食べさせたくない、食べさせることができないという思いで、無農薬のお米を探そうということで工藤さんに出会いました。工藤さんに電話して給食のお米を調達していただけませんか、とお願いしたところすぐに承諾いただけたので、実際食べたらすごく美味しい、全然違う美味しさがあるということで瑞浪市にも無農薬の農家さんはいっぱいいるんだということを教えていただいて、頑張ってらっしゃる方がいるんだということで、その方々に先生と一緒に周って日吉、釜戸、稲津、明世に農家さんがいらっしゃって、給食で使わせてもらえませんかというところがきっかけです。

私は実際に身体が弱くてアレルギーがひどく、気管支にも持病がありまして、病院に通えば1万円位の薬がでる、塗り薬ももらって塗っている、そんな生活はもう辞めようとおもって、病院通いも、薬も全てやめました。頑張れるだけ頑張ってオーガニックにしようという生活にしました。その取り組みで2年、薬は飲んでいない生活になりました。

そういう事例が私だけではなくて、そういう生活をしていたら周りにそういった生活をしてみえる方がたくさんいることが分かりました。

オーガニックで頑張っているお母さんがいらっしゃったり、聞くとみんなおうちでは無農薬の野菜を作っているんだよということが段々わかってきたり。ほんのちょっとのことで作ればいいんだよということもわかって、美味しい野菜を作って、食べてきたということがあります。実績が少しずつですが進んでいきたという思いです。全部変えるということではなくて、中国や韓国みたいにオーガニックになるといいのですが、まずは出来ることから始めていけたらいいなという思いがあります。

実際マルシェでは高いという人もいますが、安い人もいます。スーパーが安過ぎるというのがあると

思います。安い事の競争が風潮としておかしくなってきているのではないかと思います。みんなが良い物を求めるようになれば消費者が変わり、生産者も変わっていくと思います。

農薬を使わず肥料も使わず作ることができれば、農薬を使った野菜より安くできるはずですよね。そういう世の中に変わっていって土壌が変わっていくことによって、ミツバチも戻り、緑豊かな土地になり、未来が緑豊かな地球環境のことまで思いを馳せますが、そのようなことを思っております。

〇委員

少し厳しめなことを言いますが、市のお金、税金を使うからには瑞浪市民にとってどのようなメリットがあるかということをメインにプレゼンテーションされた方がいいのかなと思います。今のプレゼンテーションですと、お呼びする先生のＰＲとしか聞こえない、どれだけ素晴らしい先生なのかということしか伝わらないので、みなさんの団体がどういった思いでどのような団体で活動しているか、写真の実績のところを詳しく説明された方がよいプレゼンテーションになったのかなと思います。今の段階ではこのプレゼンテーションでは講師の紹介になるので、今後活動されていくからにはご自身の活動をメインにしてもらった方がいいかなと思います。あとは勉強されるのであれば両極の知識をもって勉強された方がいいのかなと思いました。オーガニックは 100％どなたにとってもいいよ、その反面農薬を使った農家さんは潰れてしまいますので、社会的な調査を踏まえた方がいいかと思います。

瑞浪市民にとってどんなメリットがあるかということを質問致します。

●子どもの食

はい、ご指摘ありがとうございます。市民にとってオーガニックはまだ馴染みのないものだと思いますが、マルシェに来ることでこんな風に身近で、こんなに美味しいものなんだということを実感していただいて、知っていただく、口コミで広がることにより市民の皆さん伝わり、何が大事なんだというところまで学んでいただけたらと思います。イベントだけで終わらず、日々の積み重ねが大事かなと思いますので、そういった風にお声がけしていけたらと思います。

〇委員

もう少し単純に市民の健康のためということでいいんじゃないかと思いますが、もう少し簡潔にしていただけるとより市民の方に伝わると思います。

＜市長コメント＞

今、大宮先生にも色々ご指摘いただきまして、市の給食で必要ということで私も理解はしておりますし、給食でオーガニック野菜を取り入れている市町村もあるようですが、今瑞浪市ではそこまでいっきに取り入れることは出来ないのですが、こういったことを市民の方に広く知ってもらいたい、食と健康の因果関係を知っていただくことによって、市民のみなさんが食の安全について考えていただける、そのニーズが広まっていけば生産者の方々も増えて、農家さんが増えてくればコストの面で抑えることが

できるし、また給食で使おうとなると 3，000 食必要なりますので、その全てを有機野菜にすることは今の段階では難しいです。だからまずは小さな取り組みから広めて理解者を増やしていただくことをやらなくてはいけないのかなと思います。その先駆けとして肥田さん達が取り組まれていることには高く評価していますし、国光先生の講演を聞かせていただきましたが、研究をもとに発表された内容は広く市民のみなさんに聞いてもらいたい、という思いになりました。まずは知っていただくきっかけに講演会とオーガニックマルシェがなればいいなと思います。

【５　事務連絡】

≪事務局より事務連絡など≫

【６　閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫　　以上